

島根大学学生 EMS 委員会の取り組み

島根大学 学生 EMS 委員会 2024 年度委員長 **村上 敏規**

初めまして、島根大学学生 EMS 委員会です。私たちは、島根大学をより環境に配慮した「エコキャンパス」にすることを目的として、環境評価やSDGsに関する活動をしている組織です。島根大学松江キャンパスは、2006年にISO 14001[†]の認証を取得しました。しかし、大学は2013年に「松江キャンパス EMS 改善委員会」を設立し、そこを中心として環境評価を行うよう方針を切り替えました。そしてその下部組織として発足したのが、学生のみで構成された島根大学学生 EMS 委員会です。当委員会では、キャンパス内のごみ拾い活動や放置自転車の点検、環境問題に関するディベート会などさまざまな活動を行なっています。その中でも今回は、3Rに関する私たちの活動について紹介させていただきたいと思います。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

①服リユース市（写真1）

島根大学学生 EMS 委員会では、年に1回服リユース市を行っています。現在、ファストファッション^{††}によって衣類の大量生産・大量消費が環境面・労働面で

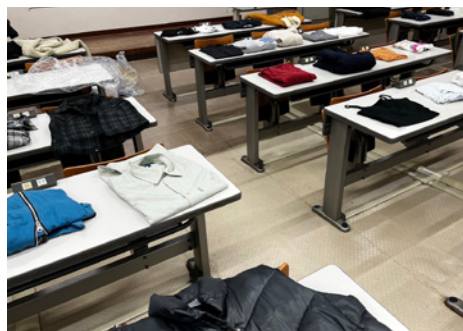


写真1 服リユース市の様子

問題視されています。そこで、衣類を長く大切に使用してもらいたいという思いからこの活動は始まりました。この活動では、まずはじめに学生たちから不要な服を回収します。具体的には、服回収ボックスというものを設置して、誰でも不要服を提出できるようにします。そして集まった服を委員が回収し、大学祭などで必要な人に譲渡するという流れです。2024年度の大学祭では地域の方々にも服をお譲りすることができ、好評の声をたくさんいただきました。また、譲渡できず余ってしまった服はリサイクルショップにて売却し、得られたお金は災害の支援団体等に全額寄付しています。

②海ごみアート体験会（写真2）

海ごみアート体験会では、海ごみを使ったオリジナルアート作りを無料で行うことができます。この活動は、海岸の清掃活動を行なった際、余ったごみも何かに活かせないかという思いから始まりました。活動の流れとしては、まず委員が海岸でごみ拾い活動を行います。その際に、ごみの中からアートになりそうな素材を探します。例えば、シーグラス[†]や釣り道具、貝殻（許可が得られれば）などを集めます。次に、それらを洗ったり削ったりして安全なものにします。そして、画用紙にそれらの素材を貼ったり絵を描いたりして作品を作り、自作の額縁にはめ込めば完成です。この活動も大学祭で行なったもので（写真3）、来ていただいた方々は楽



写真2 海ごみアートの一例

しように作品を作っておられました。このような活動を通して、3RやSDGsに興味をもってくださいの方が少しでも増えていただければ幸いです。

当委員会の活動紹介は以上とさせていただきます。最後まで読んでいただいていたうございました。



写真3 大学祭の様子

[†] 海岸などにおける波の影響で角が削られたガラス片のこと



次のバトンタッチ先は ▶ 香川大学学生ESDプロジェクトSteeP